

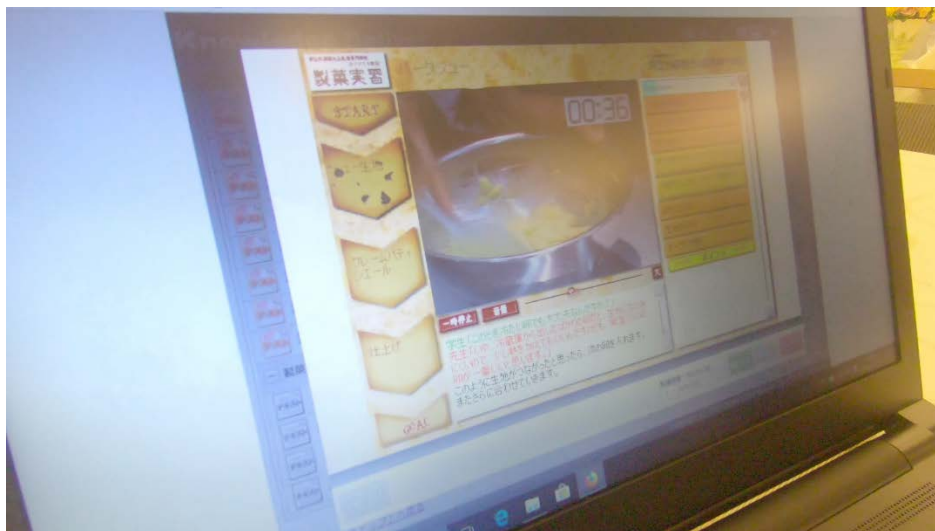
## ICT 活用研修開発のための視察調査に関する記録・取りまとめ②③

事業名	平成30年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」 I. 教職員の資質能力向上の推進 (ii) 教職員研修プログラムの構築事業
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	麻生外語観光&製菓専門学校インタビュー調査
開催日時	2018年10月31日 14時30分～17時30分
場所	麻生外語観光&製菓専門学校8号館 (福岡県福岡市博多区)
出席者	委員: 岩切直子 猪俣昇 視察先担当者: 浦川実子 中村直樹 進行・記録: 細野康男 石川大樹
聞き取り調査報告	<p>麻生外語観光&amp;製菓専門学校の製菓・パティシエ科 および ブライダル・ウェディング科での ICT 活用事例の聞き取り調査を実施した。</p> <p>[製菓・パティシエ科] 浦川実子 教務部 主任 [ブライダル・ウェディング科] 中村直輝 教員</p> <p>製菓パティシエ科: 浦川主任インタビュー</p> <p><b>1. 現状、eラーニング含め ICT をどのように活用をされているか？</b> [浦川] 1 番の目標は製菓衛生師の国家資格取得 そのために下記を用意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストベースの eラーニング教材(国家試験対策用)</li> <li>・基本的な製菓技術の実技動画教材(技術習得用)</li> </ul> <p>デジタル・ナレッジ社のナレッジ・デリバーというオンライン学習管理システムで配信している。</p> <p>また、実習室の師範(教員)の作業機の真上に、作業の手元が写せるカメラを設置、手元をモニターなどに映し出し後方の席にいる学生にもわかりやすくしている。まだ投影のみ、今後は録画・自宅学習にも使えるようにしたい</p> <p><b>2. 動画教材は誰が、どのように制作？</b> [浦川] 学校の実習室にカメラを持ち込み、マイクを師範に取り付けて収録して作成。10 年近く前に作成したので、動画の作りが長くて古い、もっ</p>

	<p>と最近の1分レシピ動画(1分で料理の作り方が分かるネットの動画)のように気軽に見ることができる教材にしたい</p> <p><b>3. 学生はeラーニングの仕組みをスマホなどで自由に閲覧学習できるようにはなっている? 得た効果は?</b></p> <p>[浦川]</p> <p>閲覧できるようにしているが、見る人は見る、見ない人は見ない。担任も状況をチェックしたりはしていない。</p> <p>どちらかという、自分の手の動きを撮影、師範の動きとの差を見て自分ができていないところを把握することが必要と感じる。それでもっと自分の弱点を知ることができる。</p> <p>国家試験用のテキストデータに関しては、テストをその場で採点できることもあって、学生は繰り返し活用している。</p> <p><b>4. 課題・今後取り組みたいこと</b></p> <p>[浦川]</p> <p>師範の手元カメラの収録機能が今故障しているが、修理して試験の時くらいは、学生の所作を手元カメラで収録、フィードバックする、また師範の手元と比較できるような試みをやってみたい。</p> <p>もう一つ、不登校の学生問題がある。不登校になる学生は(一度授業を休むと)周りの学生よりも学習が遅れるから不安、その日やったことを知らないから不安。そこから不登校になる。</p> <p>動画で、やったことを伝えるだけでも、不安は解消できるのでは? 年間で取得する必要がある単位を、動画で取得したことにできれば、不登校問題も緩和できるのでは?</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
見学内容 所感	<p>(見学内容)</p> <p>◆株式会社デジタル・ナレッジの LMS[オンライン学習管理システム]</p> <p>(画像1)</p> <p>ナレッジ・デリバー上で製菓の基礎を教える動画を配信</p> <p>料理番組のような構成で、横にステップが出ていたり重要なところで、ポイントマークが動画上に現れたり動画を楽しみ見せる工夫が凝らされていた。</p> <p>動画の1本当たりの尺は20~30分程度で少々眺め</p>

重要な部分は師範(教員)の手元をアップにするなど、カメラワークを駆使している。授業等で効果的に活用できていないのがもったいない。



(画像1)

左側にステップを表すクッキーのようなアイコン

動画の下にはセリフをすべて文字で起したキャプションが表示

◆製菓実習室の師範(教員)の手元を写す天井カメラを見学

(画像2. 3)

天井からつり下げられたモニターに手元の様子が映るようになっているため学生は席の場所を問わず教員の手元がよく見えることは良い点。

実習室の入口横にコントローラーや収録機材がラックに収納されているが、収録機材は現在故障中とのことで授業での動画収録→活用は今後の課題



(画像2) 赤丸の部分が手元カメラ 師範の手元を撮影できる



(画像3)コントローラーで手元カメラを操作

**(所感)**

- ・動画活用などは、トップダウンで一時期大きく進んだが  
管轄する担当の異動や退職で、曖昧になりがち ICT 活用担当などの  
役職の必要性
- ・動画教材のコンテンツの内容よりも、しっかり活用するための  
統括管理や運営フローの整備が難しい
- ・教員が授業外で動画コンテンツを制作するのは、負担が大きく  
息切れして途中で止まってしまうやすい。もっと手軽な動画活用から  
始めてみると良いと感じる。
- ・何のための ICT 活用か？を明確にすることで活用を促進できるのではな  
いか？ 例えば、動画＝不登校対策 など用途を明確に。
- ・試験対策問題の e ラーニングは学生もしっかりと活用する  
(資格取得＝自分ごと、何度も繰り返せる)

以上

<p>聞き取り 調査報告</p>	<p>ブライダル・ウェディング科: 中村直樹教員インタビュー</p> <p>1. 現状、eラーニング含め ICT をどのように活用をされているか？</p> <p>〔中村〕</p> <p>大きく 2 点ある</p> <p>① 座学の授業で PC のスライドを用いた授業を実施</p> <p>② iPad などタブレットを使った実技の授業</p> <p>2. 具体的にはどんな授業なのか？</p> <p>〔中村〕</p> <p>① メインで教えている「セレモニー論」という座学授業でブライダルの歴史が記載されている分厚いテキストがある。国家資格となった BIA 協会の検定を目指す授業 かつ基本的な結婚式の全般を覚える講義授業。</p> <p>テキストを補う形で、パソコンのスライドソフトを活用。動画や画像などを組み込んで見せている。</p> <p>例えば「神前式」の三々九度、玉ぐしなど、テキストの文字や白黒の写真ではなく、PC のスライド資料で、カラー写真や動画など実際の条件に近づけた状態で見せてあげることで、学生もイメージしやすくなる。</p> <p>② ブライダルプランナーの授業で、お客様に会場案内をする模擬演習があるが、その際 iPad でケーキなど様々な種類のアイテムやパターンを見せることで、実際の現場に近いお客様との打ち合わせがロールプレイングのできるので活用している。</p> <p>3. 中村先生のような ICT を活用した授業を実施する以前はどのようなスタイルでの授業だったのでしょうか？</p> <p>① 座学を担当して 3 年目だが、初年度、前任の先生から科目を引き継ぐため授業を見学したところ、テキストをベースに先生が話しながら黒板に板書していく方法だった。</p> <p>テキストは文字ばかりで、わずかに白黒の写真がある程度。挙式の流れや会場の雰囲気などをつかみにくいと感じた。</p> <p>② ブライダルプランナーの実習授業は、前任の先生の方法は、はっきりわからないが、おそらくパンフレットなどを使って口頭で説明する演習を行っていたと思う。</p>
----------------------	---

私が現役のプランナーだった時は、タブレットでの案内が一般的、前任の先生の時代はタブレットがなかった時代。教え方も違ったと思う。

#### 4. ICT を活用した授業で学生の反応は？効果はあったか？

アンケートで「スライドがあるので見やすい・わかりやすい」という声が増えた。ハネムーンの授業をする際など、最新ハネムーン先TOP5などを、Webなどを組み合わせて紹介。楽しい・わかりやすいと言ってもらっている。

タブレットなどは、今学生の若い子たちの方がうまく使いこなせているので、今後就職した先でも活かされると思う。

教員としては授業準備がとても楽になった。

スライド等の資料を作成している時は、大変だったが

1度作ってしまえば授業のクオリティが担保でき、学生の反応やトレンドの変化から、スライドをチューニングするのもとても早くて楽にできる。

PCのスライド資料に、(学びの)順番を組み込んでおけば「話に集中させるとき」「スライドを見せるとき」など、授業内で転回をしやすい。スライドで色々な写真や動画を見せることで、実際に現場に行った時、授業でやったと思いだしやすい。説明の中で動画などを見せることで学生が飽きない。

#### 5. ICT 導入に消極的な先生も多いと思うが、取り入れる上でのアドバイスはあるか？

「絶対に授業クオリティが保てる」と伝えたい

教員も学生も人間、いつも調子がいいわけではない。

学生もお客様。常に良いものを提供しなければ失礼。

ICTを活用することで、ある程度の「カタチ」をつくれる。



一定のクオリティを常に提供するのが当然。

体調や進め方で、伝え忘れた・間違えたは違う。

ICT活用で一定のクオリティが保てる。ICTで授業していなければ考えると、授業準備が恐ろしい。

クラス担任や他の業務も任せてもらっているのも、ICT活用で上手に授業と他の業務を回しているからだと思う。

ICTを教員側が使いこなせるか？がカギを握る。でも学生はICTが

	<p>当たり前。こちら側が率先していかないと、上の世代がチャレンジしないと学生が「？」となる。自分もPCや機械は得意でなかった。でも自分で投資をして覚えた</p> <p>小・中学校ですでに授業がICT化してきている。専門学校も活用していくべきだと思う。そうでなければ選ばれなくなっていく。</p> <p>ベテランの先生方は知識・経験・型がすでにあるはず、それにICTが加わると鬼に金棒。より強くなる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>見学内容 所感</p>	<p>(見学内容)</p> <p>◆授業スライドを中村先生のPCで閲覧(画像1. 2. 3)</p>  <p>(画像1)文字を少なく、ビジュアルもすっきりとわかりやすく工夫</p>  <p>(画像2)スライドに動きを付けて、楽しく説明 ビジュアルも実際のものをつかうことでイメージが定着しやすく</p>



(画像3)パワーポイントのスライドで説明資料を作成したことで授業のアップデートやチューニングが楽になったと語る中村教員

(所感)

- ・テキストや板書のみならず、PC+スライドで画像や動画を見せることで、学生の集中度が上がる という意見に関しては、文字よりもビジュアルで記憶にとどめていく現代っ子らしいと感じる。
- ・スライドを作るときは大変でも、1度作れば授業のクオリティが一定に保てるし、よりよいものにチューニングしやすいという意見はICT未活用の教員にとって検討材料になると感じる。
- ・様々な業務を兼務する中、授業準備の時間を減らせるので教員の負担が軽くなるということは教員のメリットとして前向きな検討材料になると感じる
- ・学生たちはICT活用が当たり前の世代、授業スタイルやノウハウが蓄積されているベテランこそ経験・知識をICT活用でよりよいものに！

以上